

内部監査の品質評価支援

内部監査品質の保証と改善に資するアドバイスの提供

日本では近年、3ラインモデルの浸透やコーポレートガバナンス・コードでの言及により、内部監査の重要性が急速に認識されるようになってきました。内部監査が一定以上の品質を保って効果的かつ効率的に実施されていることを確認するために、定期的に外部から品質評価を受けることが求められています。

KPMGは、内部監査品質の保証と改善に向けた品質評価サービスを提供します。

内部監査の現状と課題

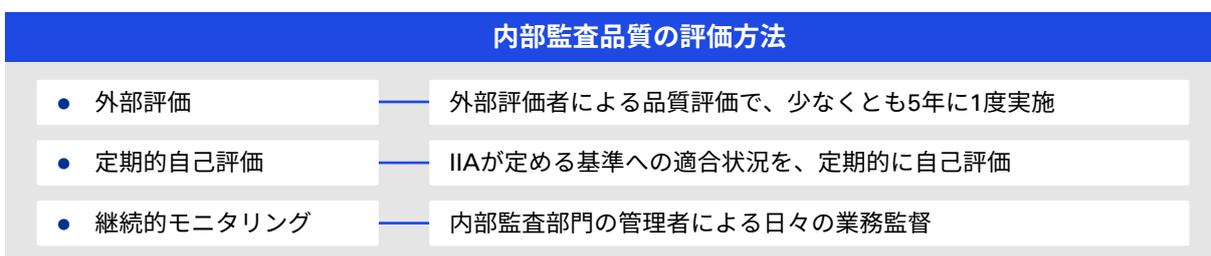
ステークホルダーからの内部監査へのニーズが高まる一方、多くの内部監査部門には以下のような課題があり、実態とのギャップが大きくなっています。



内部監査の外部評価とは

「外部評価」とは、内部監査品質の保証と改善に向けて、外部評価者が実施する内部監査部門の品質評価です。内部監査部門は組織内のあらゆる活動を監査の対象としますが、自部門の活動は監査対象とすることができません。

IIA (内部監査人協会) は、内部監査部門の活動品質の保証と改善のために「品質のアシュアランスと改善のプログラム (QAIP)」を作成・維持しなければならぬと定めています。QAIPは内部監査の品質評価の方法として、以下の3つを挙げており、さらに「外部評価」を少なくとも5年に1度実施することを求めています。



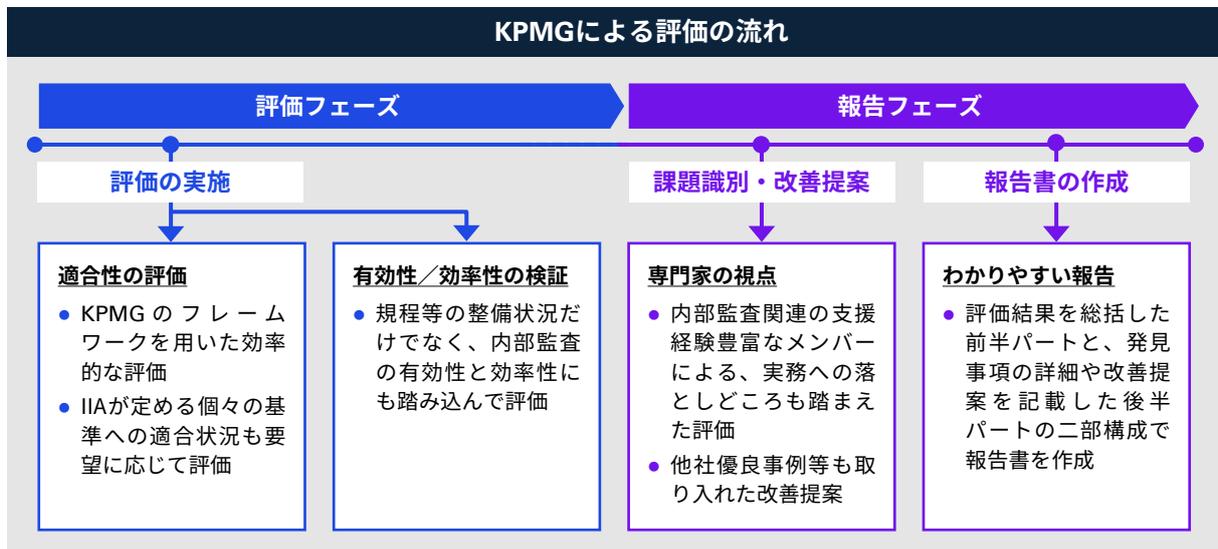
KPMGの評価の特徴

KPMGは、IIAが定める基準への適合性評価だけでなく、日本企業の実務との整合性を図るために、独自の評価フレームワークを構築しています。さらに、内部監査の有効性・効率性を評価する指標として、他社優良事例や経営層からの期待も勘案し、外部評価を実施します。



品質評価の流れ

内部監査の品質評価は、大きく分けると「評価」と「報告」の2つのフェーズがあり、KPMGは以下のような価値を提供します。



本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

KPMGコンサルティング株式会社

T: 03-3548-5111

E: kc@jp.kpmg.com

kpmg.com/jp/kc

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供しよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2025 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. C25-1021

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.